



目次 CONTENTS

- ◆第2回臨時会で決められた概要 ……2～3
- ◆新議員・会派紹介等 ……4～5
- ◆3月定例会で決められた概要 ……6～9
- ◆予算審査委員長報告 ……10～11
- ◆一般質問 ……12～18
- ◆議案に対する付託審議 ……19

議長に市川義夫氏

副議長に鈴木理夫氏を選出

町民が身近に感じる議会運営に努める



議長
市川 義夫

いちかわ よしお

住所……………表町8番13号
職業……………農業
年齢……………66歳
党派……………無所属
当選回数 3回

平成26年4月、改選後の初議会におきまして、議員各位のご推挙を賜り議長に就任いたしました。議長を拝命いたしましたことは誠に光栄であり責任の重大さを痛感しております。微力

ではございますが、議員各位のご支援をいただきながら円滑な議会運営に努めるとともに、壬生町の発展と町民福祉の推進に最善の努力を尽くす決意でございます。

また、地方分権の推進における課題に、適切かつ弾力的に対応してまいります。町の財政は厳しい状況であります。限られた財源の中で、政策の提言をし、町民が安心できる、町民のた

より身近な議会



副議長
鈴木 理夫

すずき りちお

住所……………下稲葉945番地
職業……………農業
年齢……………63歳
党派……………無所属
当選回数 3回

壬生町議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、副議長に就任いたしました。大変光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しているところで

ございます。大変微力ではありますが、副議長として議長を支え、議員各位のご協力をいただきながら、公正かつ円滑な議会運営に努め、より身近な議会を目指し緊

張感を持って取り組んでまいります。壬生町においても少子高齢化の急速な進展、そして厳しい財政状況のなか町民ニーズの多様化など、大変

めの町づくり、そして、「次の未来へ“進化”する壬生町」の推進に力を傾注してまいります。
私は、町民の負託に応えることを旨とし、壬生4万町民の、一人でも多くの皆様に関心を示していただける議会、公正公平な議会運営をめざして、全身全霊を傾け努力してまいります。
今後とも、町民の皆様の温かいご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

な時代の真っ只中にあり、二元代表制の一翼を担う町議会の役割もなお一層重要になってまいります。町民の安全・安心を、まず確保するとともに、すべての町民の皆様が『住んでよかった』、『住みたいまちみぶ』と考える壬生町の実現に向け、全力で取り組む決意でございます。
今後とも、町民の皆様のより一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

4月24日、改選後初めての第2回臨時会が1日の会期で開かれ、町長の専決処分3件及び町監査委員選任の議案が上程され、いずれも原案のとおり決まりました。

議会人事の議長選挙の結果は、市川義夫氏13票、小貫暁氏1票、落合誠記氏1票、小牧敦子氏1票となり、市川義夫氏（66歳、当選3回）が当選しました。また、副議長選挙の結果は、鈴木理夫氏10票、河野辺恒雄氏3票、小貫暁氏1票、落合誠記氏1票、小牧敦子氏1票となり、鈴木理夫氏（63歳、当選3回）が当選しました。併せて、常任委員会等の構成も行われ、新しい議会の体制が整いました。

また、石橋地区消防組合議会議員には大島菊夫氏と鈴木理夫氏、壬生町表彰審査委員会委員には、市川義夫氏と鈴木理夫氏、栃木県南公設地方卸売市場事務組合議会議員には、細井敬一氏、栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員には、小菅一弥氏（壬生町長）が選出されました。

議会の構成

◎委員長

○副委員長

議会運営委員会	◎大島菊夫 ○河野辺恒雄 榆井聰 田村正敏 小貫暁 落合誠記	総務常任委員会	◎玉田秀夫 ○河野辺恒雄 落合誠記 市川義夫 赤羽根信行 遠藤恭子
教育民生常任委員会	◎田村正敏 ○中川芳夫 細井敬一 榆井聰 小牧敦子	建設経済常任委員会	◎坂田昇一 ○高山文雄 小貫暁 大島菊夫 鈴木理夫
広報特別委員会	◎赤羽根信行 ○玉田秀夫 坂田昇一 中川芳夫 遠藤恭子	表彰審査委員会委員	市川義夫 鈴木理夫
栃木県南公設地方卸売市場事務組合議会議員	細井敬一	石橋地区消防組合議会議員	大島菊夫 鈴木理夫
栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員	町長 小菅一弥		



氏名 榆井 聡
住所 大師町39番13号

平成26年4月15日の議員の任期満了により欠員となっていた監査委員に、榆井聡氏を選任することに同意したものです。

監査委員に
榆井氏を選任

専決処分

専決処分の承認（3件）

地方税法等の一部改正に伴い、町税条例、町都市計画税条例及び町国民健康保険税条例の一部を改正する必要が生じ、施行日等との関係から議会を招集する時間的余裕がないことから専決処分したことについて採決の結果、全会一致で承認しました。

新議員紹介

今回当選されました16名の議員に議会活動の抱負を述べていただきました。

- ①住所 ②職業 ③年齢 ④党派 ⑤当選回数

遠藤 恭子
えんどう きょうこ



- ①壬生丁4番地8 ②無職 ③33歳 ④無所属 ⑤1回

皆様のご支援を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。子育て支援や高齢者を守る医療と介護の充実を図り住んで良かったと思える町づくりを目指します。

赤羽根 信行
あかばね のぶゆき



- ①羽生田330番地1 ②建築業 ③61歳 ④無所属 ⑤2回

明るく活気に満ちた教育と文化が花開く町づくりを皆さんと共に考え、町発展に貢献できるよう頑張ります。

河野辺 恒雄
かわのべ つねお



- ①安塚1993番地1 ②卸売業 ③73歳 ④無所属 ⑤2回

子供から高齢者まで安心、安全に暮らせる「豊かな町づくり」を目指し地域の方々、町民の皆様と新しい壬生町をつくりましょう。

小牧 敦子
こまき あつこ



- ①安塚2099番地1 ②無職 ③49歳 ④無所属 ⑤2回

二期目においても緊張感を持って住民の思いを町政へ繋ぎます。教育、子育て支援は元より、将来にツケを回さない財政健全化に力を入れてまいります。

坂田 昇一
さかた しょういち



- ①上稲葉1464番地1 ②農業 ③60歳 ④無所属 ⑤2回

町民の皆様と共に安心・安全で、魅力あふれるまちづくりを目指し、町民の皆様一人ひとりの声が町政に反映されるよう「誠心誠意」取り組んでまいります。

玉田 秀夫
たまだ ひでお



- ①至宝一丁目3番34号 ②会社役員 ③61歳 ④無所属 ⑤2回

町民の皆様から選ばれた議員として、強い絆を大切に「安心・安全・元氣社会壬生町」を実現するために誠心誠意、努力する決意で

あります。

田村 正敏
たむら まさとし



- ①本丸二丁目15番31号 ②副住職 ③46歳 ④無所属 ⑤2回

誰もが誇りと愛着を持てるまち。誰もが安心して暮らせるまち。誰もが生きがいと喜びを感じられるまち。そんな壬生町をめざし、自ら率先して行動します。

中川 芳夫
なかがわ よしお



- ①安塚447番地1 ②農業 ③64歳 ④無所属 ⑤2回

町づくりとは、自らの地域を安全で安心して住む事ができ、子供たちが、将来

にわたり夢と希望の持てる、魅力的な地域社会をつくりていく事です。

市川 義夫
いちかわ よしお



- ①表町8番13号 ②農業 ③66歳 ④無所属 ⑤3回

的確に時代を見据え、福祉、教育環境の充実、集客産業の活性化など、活気に満ちた安心の町づくりに全力で取り組んでまいります。

鈴木 理夫
すずき みちお



- ①下稲葉945番地 ②農業 ③63歳 ④無所属 ⑤3回

全ての町民の皆様が、『住んでよかった』『住みたい

まち』と実感できる壬生を
めざし、全力で取り組んで
まいります。

榆井 聡



① 大師町39番13号② 無職
③ 56歳④ 無所属⑤ 3回

人口5万人を目指して、
「誰もが住みたい」「住み
続けたい」「住んでよかつ
た」と思える壬生町をつく
ります。

大島 菊夫



① 本丸二丁目17番3号② 農
業③ 66歳④ 無所属⑤ 4回

町民のみならず、安心
して生活できる安全なまち

づくりを目指して、一生懸
命に取り組んでまいります。

落合 誠記



① あけぼの町12番1号② 会社
役員③ 49歳④ 民主党⑤ 4回

住民意思の決定機関であ
る議会の一員として、町民
生活の深層に迫りながら、
『ともに支え合う、パート
ナーシップのまちづくり』
に全力で取り組んでまいり
ます。

高山 文雄



① 国谷996番地1② 農業
③ 61歳④ 無所属⑤ 5回

壬生町の将来へのビジョ

ンを主張してまいります。
町の勢いを確保し五万人、
市へ昇格するため、独自性
を推進することで地域の活
性化を持続するでしょう。

細井 敬一



① 藤井1176番地17② 縫
製業③ 66歳④ 公明党⑤ 6回

「議員は公僕」を旨とし
て、町民の皆様のニーズを
的確にとらえ「もつと、も
つと快適な住みよい壬生町」
を目指し、皆様の手、足と
なり働いてまいります。

小貫 暁



① 壬生丁187番地9② 団
体職員③ 65歳④ 共産党⑤

9回

「住民こそ主人公」が政
治の原点です。憲法をくら
しに活かし、すべての住民
が安心して生活できる壬生
町を目指します。「初心忘
るべからず」今後も全力を
尽くします。

会派一覽

平成26年4月24日現在
会派が次のとおり結成され
ました。

◆清友会 (9名)

会長 榆井 聡
副会長 赤羽根信行

細井 敬一
大島 菊夫
市川 義夫
鈴木 理夫
坂田 昇一
玉田 秀夫
田村 正敏

◆新風会 (3名)

会長 河野辺恒雄
高山 文雄
中川 芳夫

意見書①

3月定例会において、議員提出の意見書を2件可決し、関係機関へ提出しました。

TPP (環太平洋連携協定) 交渉に関する意見書(要旨)

提出者 玉田 秀夫
賛成者 細井 敬一
同 河野辺恒雄
同 小牧 敦子
同 田村 正敏

TPP交渉は、昨年末までの妥結を目指し
て進められてきたが、12月にシンガポールで
開催されたTPP閣僚会合では、市場アクセ
ス、知的財産、環境、国有企業などの難航分
野で各国の隔たりが埋まらず、年内妥結を断
念し、引き続き協議を続けていくこととなった。
安倍総理はじめ政府の主要閣僚および与党
幹部は、国会および自民党による決議を守る
との交渉姿勢を堅持しており、両決議は実質
的な政府方針となっている。今後とも国益を
かけた極めて厳しい交渉が続くと予想される
が、政府はいかなる状況においても、現在の
姿勢を断固として貫かなければならない。
TPPは、農林水産業のみならず、食の安
全、医療、保険、ISDなど、国民生活に直
結する問題であることから、国民に対する情
報開示は必要不可欠である。
以上を踏まえ、政府に対し、TPP交渉に
おいて下記の事項を必ず実現するよう、強く
要請する。

記

- 1・TPP交渉において、衆参農林水産委員
会決議や自民党決議を必ず実現すること。
- 2・TPP交渉に関する国民への情報開示を
徹底すること。

本町の予算は、社会保障関係費の自然増や、起債現在高が増加傾向にあることなどにより、経費全般について徹底した節減合理化に努めても、依然として厳しい状況が続いております。また、一般財源の総額は確保するとしながらも、交付税の総額は削減される方向にあります。

本年は「第5次総合振興計画後期基本計画『壬力UPすまいるプラン』」の4年目に当たり、計画に挙げた取り組みを現実なものとするほか、当面する課題や町民のニーズに的確に対応していくことを基本としました。このため、事業手法の見直しや自主財源確保など歳入歳出にわたる徹底

した見直しにより、本町のまちづくりのテーマである「活力と創意が生きる希望に満ちたまち・みぶ」の実現に向けて、知恵と工夫を凝らし、魅力に富んだ予算となっています。

議会では、長期的な観点にたつて策定されている基本構想に合致しているか否か、町長の予算編成の方針に基づき、住民全体の福祉を念頭においた堅実な予算であるか、不時の支出に備えての財源が留保されているか、本議会及び各常任委員会で十分な審議を行い、一般会計当初予算は原案可決となりました。

3月定例議会

活力と創意が生きる 希望に満ちたまち・壬生

平成26年度当初予算 一般会計11.6億円原案可決

算項目は。

教育長 児童が学級にうまく適応しているか、不満を感じているのか、教員が児童に対しての管理、指導等を振り返るための資料となる、ハイパーQ-Uテストを今回取り入れています。

問 自主財源の確保について例年と違った手法は。

総合政策課長

防災対策として実施します。また、自動販売機の増設を5か所予定しております。

まず太陽光発電の設置は、本庁、稲葉地区公民館、南犬飼地区公民館、児童

館の4施設に設置します。

問 教育に対して特別な思い入れの予

問 固定資産税の中で、太陽光発電が課税対象になるが、試算は。

税務課長

償却資産として10キロ以上

が課税対象になり、課税標準額で3億円分見込んでいます、再生エネルギーの設置特例で3分の2、約2億円が資産対象になっています。

問 これからの都市計画に対して町の考えは。

都市計画課長 市街地形成検討調査結果をもとに、市街化調整区域7ヶ所について、市街地化が図れるよう検討しています。現在取り組み中の六美北地区、今井地区もその一部となっています。

問 町の地域特産物推進事業拡大の中で壬生菜に関しての今後の手法は。

経済部長 今後の生産面については、作付け面の安定化、周年栽培の確立また、販売面では、JA直売所を通じて町民の方々に壬生菜の良さなどを知っていただくなど、アピールを徹底させていく必要があると考えています。26年度におきましては、消費者へのPR活動等を重点におきました。

問 次の第6次振興計画を策定する平成27年度の前に財政運営に余力はあるのか。

総合政策課長

財政調整基金の活用な

どを最低限に抑え、昨年度5億7千万円でした臨時財政対策債の発行を5億円にするというような、後年度に負担を残さないよう留意し、10年先の事業運営にも支障が無いよう予算編成に心がけをしております。



予算審議の様子

意見書②

国民の祝日「山の日」の制定を求める意見書(要旨)

提出者 坂田昇一
賛成者 高山文雄
同 榎井聰
同 鈴木理夫
同 中川芳夫
同 小貫暁

我が国は、国土の約七割を山が占めており、山の豊かな森林は、国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全、地球温暖化防止など国民生活に欠くことのできない機能を有している。

また、国民は古来より山を身近な自然として親しむとともに、その生活の中で伝統文化や産業を育んできており、山は林業のみならず様々な分野で貴重な資源となっている。

こうした山の恩恵を将来にわたり享受できるよう、国民全体が山に感謝し、山を守り育てていく機運を醸成していくことが大切である。

よって、国においては、国民が山の役割や恩恵に感謝するとともに、山を国民共通の財産として守り育てる意識の向上を促す契機とするため、国民の祝日として「山の日」を制定するよう強く要望する。

平成26年度予算議決

3月
定例会

まちづくりのキーワードを 「進化」とし、各種施策を展開

一般会計116億円、他7会計予算を可決

平成26年第1回定例議会は2月25日に招集され、3月12日までの16日間の会期で開かれました。

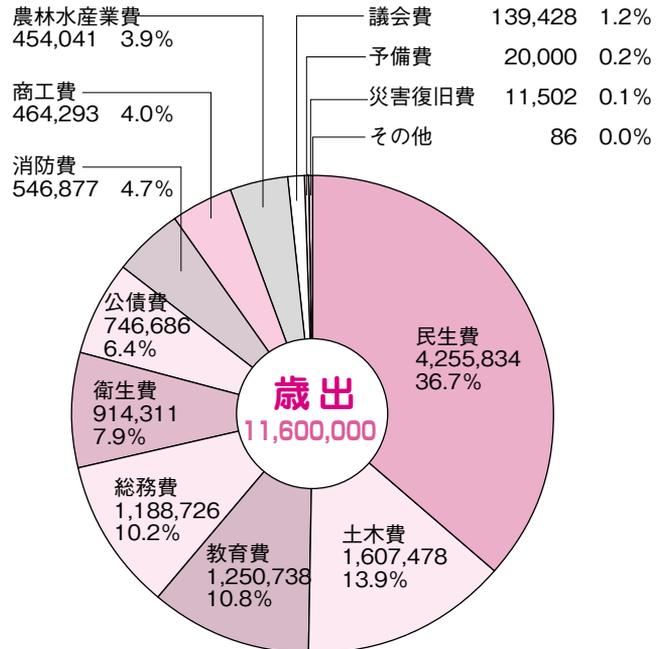
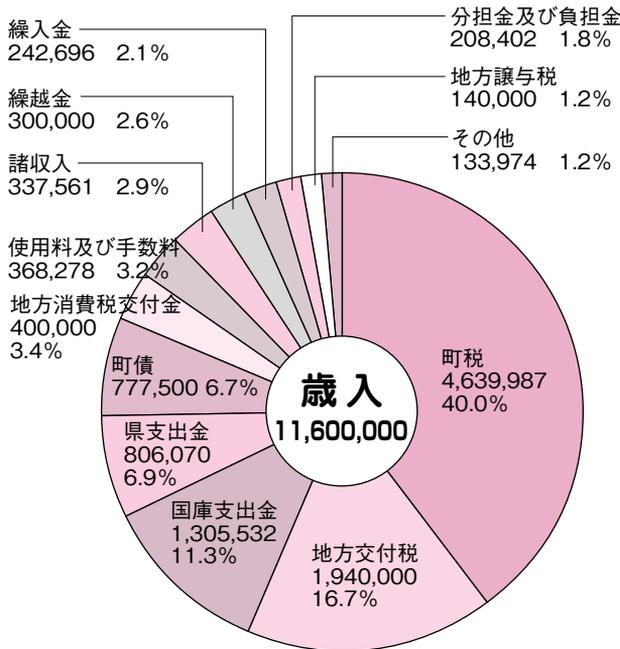
平成26年度予算議決8件のうち、一般会計については小貫議員の反対討論及び楡井議員の賛成討論、国民健康保険特別会計については小貫議員の反対討論及び田村議員の賛成討論、介護保険事業特別会計については小貫議員の反対討論及び細井議員の賛成討論の後、採決の結果賛成多数で原案のとおり決まりました。

平成26年度予算

歳入 (単位:千円)

一般会計

歳出 (単位:千円)



その他の内訳	
財産収入……………39,970	地方特例交付金……………20,000
ゴルフ場利用税交付金…33,000	利子割交付金……………9,000
自動車取得税交付金……20,000	交通安全対策特別交付金…6,000

配当割交付金……………4,000	その他の内訳
株式等譲渡所得割交付金…2,000	労働費………… 83
寄附金……………4	諸支出金…………3

平成26年度

特別会計予算

会計名	予算額	対前年比
国民健康保険	47億4,234万0千円	0.2%減
公共下水道事業	14億460万6千円	22.8%減
奨学資金	190万1千円	11.8%増
介護保険事業	26億552万4千円	4.2%増
農業集落排水事業	7億3,194万2千円	6.1%減
後期高齢者医療	3億3,308万9千円	1.1%増

企業会計予算

水道事業		予算額	対前年比
収益的	収入	6億2,787万6千円	11.4%増
	支出	5億1,837万0千円	7.8%増
資本的	収入	3億9,367万4千円	86.2%増
	支出	6億9,421万0千円	30.7%増

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分損益勘定留保資金及び消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金取り崩し額、建設改良積立金取り崩し額で補てんします。

平成25年度 補正予算 (平成26年3月定例会可決)

常任委員会に付託し、各事業の補正の理由について説明を求め、一般会計の補正予算では消防自動車購入事業の進捗状況、地域生活支援事業補助金、六美地区雨水排水対策事業の進捗状況等について質疑し、確認しました。

[単位：千円]

会計名等		補正額	補正後の予算	補正の主な理由	
一般会計		971,725	12,730,647	国の「好循環実現のための経済対策」に対応し、緊急経済対策に呼应し、前倒ししての実施事業、歳入歳出予算全般の執行を精査によるもの。	
特別会計	国民健康保険	△31,135	5,075,083	年度末を迎えることから、歳入歳出全般についての見直しによるもの。	
	公共下水道事業	△62,100	1,756,045	各事業等の進捗状況の精査によるもの。	
	介護保険事業	22,473	2,562,557	介護給付費に要する所要額に過不足が見込まれることによるもの。	
	農業集落排水事業	49,769	828,184	国の補正予算に呼应し、前倒し実施する「黒川東部地区」の整備費等を計上したことによるもの。	
	後期高齢者医療	△1,783	344,248	保険基盤安定負担金の確定によるもの。	
水道事業	収益的	収入	14,166	577,766	変更認可申請の県企業局負担金、消費税等を追加計上したことによるもの。
		支出	△5,044	472,883	各項目の所要額の精査によるもの。
	資本的	収入	△46,705	164,745	工事内容の変更によるもの。
		支出	△41,730	489,219	工事内容の変更によるもの。

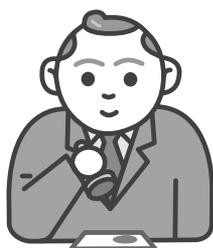
条例の制定

壬生町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定及び壬生町歯と口腔の健康づくり推進条例の制定が各常任委員会に付託され詳細に説明を受け慎重な審議を行いました。

陳情の審査結果

3月定例議会で、審査の終了した陳情は次のとおりです。

●採択になったもの●



陳情第1号

「山の日」制定に係る意見書採択の陳情書

提出者……宇都宮市塙田1丁目1番20号

「山の日」をつくろう栃木県連絡協議会
会長 喜内 敏夫

陳情第2号

TPP（環太平洋連携協定交渉に関する陳情書

提出者……栃木市片柳町2丁目1番44号

下野農業協同組合
代表理事組合長 神永 信男

委員会審査

常任委員会は2月26日から3月11日まで、予算全般にわたり活発に審議を行い、本会議に常任委員長が報告をいたしました。

なお、各委員会での審議内容は、次のとおりです。

本会議で予算決議の審査結果を報告する各常任委員長



玉田建設経済常任委員長



赤羽根教育民生常任委員長



坂田総務常任委員長

総務常任委員会

委員長 坂田 昇一
副委員長 高山 文雄
委員 小貫 暁

〃 鈴木 理夫
〃 榎井 聡
〃 中川 芳夫

職員研修の取り組み状況について

特に強化を図った点は、民間企業への派遣。今回は足利銀行の地域振興部への派遣一名を予定し、新しい試みなども検討しながら職員資質向上に努めていきます。

行政外部評価委員会の効果について

たばこ販売組合への補助金廃止、脳ドックの隔年実施等、提言をいただき事業改善へ繋げている。町の全ての事業500あまりを所

管課において自己評価を行い、優先度の低い事業を候補とする他、優先度は高くても町民目線での意見を頂き事業を選択しています。

個人町民税、税収が上がる理由及び均等割課税、復興増税分の内訳について

課税対象者が増えている事による税収増であります。課税対象者の比較は、25年度が均等割18,725人、所得割16,792人、退職分離が115人に対し、26年度が均等割19,408人、所得割17,406人、退職分離が128人とそれぞれ増加しております。復興増税分は均等割19,408人×500円となっております。

採決の結果、常任委員会に付託されました一般会計予算



決議(所管事項)、国民健康保険特別会計予算決議(所管事項)、介護保険事業特別会計予算決議(所管事項)、後期高齢者医療特別会計予算決議(所管事項)について、賛成多数で原案のとおり可決することに決しました。

教育民生 常任委員会

委員長 赤羽根信行
副委員長 落合 誠記
委員 佐藤 善光
大島 菊夫
市川 義夫

広域利用児童保育負担金 と受託児童保育負担金 の利用人数について

他市町を利用される方が、20名、町外の方で本町公立保育園を利用される方が7名を見込んでいますが、定員に空きがある場合に受け入れていきます。

中央公民館のエレベーター設置について

バリアフリー規格により11人乗りで工期につきましては、8月頃を考慮しており、大ホール改修工事と重ならないようにしたいと思っております。

高額医療共同事業負担金について

今後の傾向としましては、医療の高度化・専門化に伴い医療費が高くなり、また、糖尿病などで入院期間が長期となり、80万円以上になる方が全体的に増えていきます。

人間ドック検診補助金について

日帰りの人間ドック

は、155名×2万円、一泊のドックは80名×3万円、脳ドックは80名×2万円であり、平成26年度からは各年度につき人間ドックか脳ドックのどちらか一方のみ受診ができ、脳ドックについては隔年で受診していただくように要綱を改正しました。



採決の結果、常任委員会に付託された一般会計予算決議(所管事項)、国民健康保険特別会計予算決議(所管事項)、奨学資金特別会計予算決議、介護保険事業特別会計予算決議(所管事項)後期高齢者医療特別会計予算決議(所管事項)について、全委員異議なく原案のとおり可決いたしました。

建設経済 常任委員会

委員長 玉田 秀夫
副委員長 細井 敬一
委員 河野辺恒雄
小牧 敦子
田村 正敏

農業構造改革対策事業 について

青年就農給付金は、概ねいちご生産者への補助であり、45歳以下、かつ250万円以下の所得で、就労期間5年という条件付です。

みぶ・アグリチャレンジャー支援事業費について

事業費700万円については、経過年数が10年経ち前年比3割の減額です。今後は、事業を精査して予算計上していきたいと考えています。

おもちゃ博物館改修工事について

空調熱交換器改修工事及び中庭プール改修費等を含めて2,013万2千円計上しています。

町道2-166号線の 整備事業について

獨協医大裏の道路整備工事570mについては、県道からインター北通りまで幅員10m(歩道含)とし歩道を獨協側に付けます。

農業集落排水事業特別 会計予算について

平成23年度から黒川東部地区における整備事業を着手しており、平成26年度は管路施設の設計業務委託費、工事費及び処理施設の全体実施設計業務委託費を計上しています。歳入は、石橋地区消防組合壬生消防署新設



に伴う負担金490万円、現年分使用料5,729万円、事業債2億4,150万円等により総額7億3,194万2千円を計上しています。採決の結果、常任委員会に付託された一般会計予算決議(所管事項)、公共下水道事業特別会計予算決議、農業集落排水事業特別会計予算決議及び水道事業会計予算決議について全委員異議なく原案のとおり可決いたしました。

第

6次総合振興計画の策定は

町長 町政運営の羅針盤として策定を進めていきます



田村 正敏 議員

実現を目指すため、町政運営の羅針盤として策定を進めていきます。

問 第6次振興計画の方向性とポイントは。

町長 日本一住みたい、住み続けたい町となるよう人口5万人への基礎づくりをし、キーワードを「進化する壬生町」としてさらなる発展、チャレンジのための策定を進めていきます。

小菅町政の進化のポイントを問う

問 町民活動支援センターの運営体制と中長期的なビジョンは。支援ファンド等の計画は。

町長 現在は、町の直営でありますが、いずれはNP

第6次総合振興計画策定事業について

問 第5次総合振興計画の進捗について、遅れているものとその理由は。

町長 実を結んでいない例には、協働のまちづくり等があり、自主的な住民活動の支援等が十分ではない、また、雨水排水、通学路等の基盤整備の要望に満足できていない、地域ブランドは発掘や創出、町の魅力発

信を今まで以上にしていく必要があると考えています。遅れている原因は、財政的な問題、実施に向けた調整の難航、社会情勢の変化等様々な要因によるものと考えております。

問 第6次総合振興計画の策定手法は。

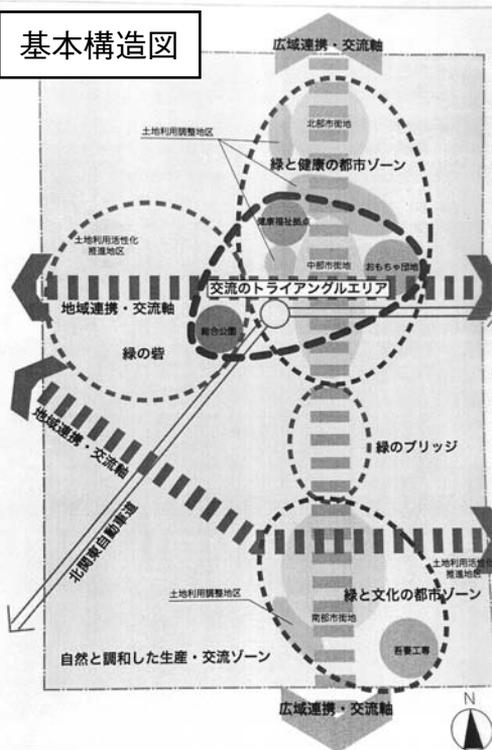
町長 次の未来を担う子どもたちに夢と誇りを持って引き継げる新しい壬生町の

〇法人等による指定管理への移行を考えています。支援ファンドは、各種団体の活動や先進地等の状況調査・研究したうえで検討したいと考えております。

問 新しい市街地整備の進捗は。壬生駅前の整備や壬生駅学校線への取り組みは。

町長 整備の進捗は、六美北部・今井地区では、まちづくりに関する調査を実施しています。壬生駅前等の整備につきましては、国谷駅前広場の進捗を見極めながら計画的に進めてまいります。

基本構造図



空

空き家・廃屋対策について

町長 国などの動向を見ながら調査・研究してまいります



赤羽根 信行 議員

町長 空き家バンクの活用方法はインターネット上で物件情報を掲載し地域外から新しい使用者を呼び込むものであり過疎化を中心に取組まれている状況です。

本町の立地条件に即した空き家バンクの効果的な取組みを引き続き、調査、研究してまいります。

人口減少の対策は

問 当町に住んでもらうために、若者を対象にした定住への経済的支援や、子どもを産み育てやすい環境整備等、今後の総合的な取組みは。

稚園就園奨励費助成など施設面や人的サポート面、経済面など多面的な支援を継続してまいります。

問 羽生田産業団地の今後の展望、六美北部土地区画整理事業の進捗状況は。

町長 現在、2社と契約を締結し、1社が間もなく操業を開始、もう1社が工事に着手した所でございます。

六美北部地域につきましては、地権者の意向調査等をもとに事業実施区域を確立させ、まずは土地区画整理事業の準備会を発足し組合設立及び整備の着手につなげてまいりたいと考えております。

空き家・廃屋対策の進捗は

問 町として、自治会単位で調査確認等を行ったと思うが、今後、適正管理に向けての条例制定の動向は。

4件の報告がありました。条例制定につきましては、自治体の努力だけでは限界があることから、今後、国などの動向を見ながら調査、研究してまいります。

町長

昨年の行政協力員会議において各自治会内における空き家の情報を依頼しまして昨年11月末現在で月に一度程度の管理されている空き家を含めまして35

問 利用できる空き家に関して、高齢者の憩いの場、商店の活用、また、地域活動の拠点を必要とするNPOとの取り組み等、町としての今後の対策は。

民間保育園への施設整備や特別保育の実施補助、放課後児童クラブや子育て支援センターなどの充実、子供や妊産婦の医療費助成や第三子保育料無料化、幼



企業誘致事業が始まった羽生田産業団地



れあい交流館の有効利用について

建設部長 多くの町民に休憩施設として利用されています



佐藤 善光 議員

都市計画課長

公園に来た利用者の中で休憩を気軽に利用できる、多目的、多機能な施設としてふれあい交流館が設立されました。23年度2万846名、24年度2万49名となっております。飲料関係の自販機が2台設置してございます。

サイ等の低木については33種、約2万株を全体に配置しており、四季を通じて花や緑を楽しむ事のできる公園となっております、とちぎの

景勝百選にも選ばれております。敷地の一部が河川区域に指定されておりまして、新たな樹木地を設けるのは難しいと考えております。

将来は秋も楽しめる公園に

問 もみじの木は紅葉が大変きれいで人の心を引き寄せます、一度植えれば手入れも必要なく未来の壬生町民が公園に足を運んでくれると思う。春は桜を眺め、秋はもみじの紅葉を楽しめる東雲公園にランクアップしてはどうか。

建設部長

当公園は桜をはじめとする高木を44種、約1200本、ツツジやアジ

町民憩いの施設に变身できるか

問 ふれあい交流館の利用客は主に入浴をする人、将棋をする人及び週に1回のいきいきサロンに参加する人で、ほぼ同じ人が利用している、以前はカラオケを楽しむ人も多く居たがカラオケの使用を制限した為にカラオケをやる人も少なくなった、飲食物の自動販売機も無く憩いの場とは言えない状態だが施設の目的を問う。

建設部長

ふれあい交流館は東雲公園来園者のための休憩施設として平成12年2月に開館しました。平成18年度より指定管理者制度を導入し、現在、一般財団法人壬生町施設振興公社が管理運営を行っています。カラオケの使用時間は14時から16時となっております。カラオケを利用するだけではない人のために使用時間の制度を設けて運営しているのが実情です。



ふれあい交流館

子

供の心と体を守る取り組みは

民生部長 地域子育て支援事業の補充などに力を注いでいきます



小牧 敦子 議員

いと考えております。

壬生町清掃センターの運営について

問 今後も引き続き直営か。または広域化・民営化なのか。その時期はどのようか。

民生部長 当面は施設の設備、機器の維持管理を適切に行ったうえで、耐用年数の比較的短い重要設備を更新する等の対策を行うことにより、今後考えられる広域処理に移行するまでの期

間、現施設の利用を少しでも長く継続していきたくと考えております。

問 細分別化やごみ袋の有料化についての考えは。

民生部長 全世帯に経済的負担を求めるもので、当面はごみの有料化につきましては考えておりません。

問 小学校において、環境に関する出前講座はいかがか。

民生部長 平成24年度に7件、平成25年度は現在までに3件となっております。臨時職員対象の研修としましては、児童相談所が主

生活環境課長 分別の仕方は何かということでは指導等行っております。学校関係者から、要請等があれば、対応はできるのではないかと考えております。

問 ごみ減量化対策事業、資源ごみ回収報奨金の継続は。

町長 町としては、できる限り今の条件でご協力できればと考えております。

児童虐待防止について

問 本町における発生件数は。早期発見・早期対応策として関係者の研修や連携・町民への啓発はどのようなか。

民生部長 来年度策定いたします子ども子育て支援事業計画の中で、子育て支援センターの充実などについて十分に検討してまいりたい

問 防止策として地域子育て支援拠点事業の拡充や中学生と赤ちゃんのふれあい等体験についての考えは。

催するものや民生委員、児童母子部会による研修、助産師を講師とした研修会などを実施しております。
こども未来課長 保育園や幼稚園、小学校から情報提供をしていただいております。窓口に来所したときに、保健師等が面接をして養育支援が必要と思われるケースにつきましては、定期的な連絡調整会議の中で、情報を共有し、検討している状況です。



町清掃センター

大

雪被害に対する支援策は

経済部長 町では、被災者支援要綱を制定し対応してまいります



玉田 秀夫 議員

大雪による農業被害に対する町の対応について

問 2月14日から15日の大雪による本町の農業被害状況はどのくらいですか。

町長 短時間での大雪とその後、の風雨による施設の倒壊、作物被害等、施設園芸農家を中心に過去に例を見ない甚大な被害が発生をし、壬生町としては3億5000万円程度です。苺農家中

心の被害でしたが、殆ど全滅という農家が2軒ほどございます。

問 本町の農業災害見舞金の支給額と件数は。

町長 被災をされた農家15軒へのお見舞いにお伺いし、被災の状況に応じて5万円から10万円の農業災害見舞金を配布させていただいたところでは。

問 県農漁業災害対策特別措置条例の適用は受けられますか。

農政課長 大半の方が適用になると思います。ただ農家負担がゼロというような新聞報道等がありましたが、農家の方も多少の負担が伴うものもあるという事です。

問 本町は災害のための基金等を準備する考えはありますか。

経済部長 自然災害の対応支援につきましては、住宅の著しい被災を受けた場合には、県の被災者生活再建支援資金の支給がございます。

また、国の農業再生支援対策といたしまして、農業補償制度の農業共済制度等があります。

当町では被災者支援要綱を制定し、対応させていただきたいと考えております。



大雪の被害状況

畜

産排せつ物処理に対する町の取り組みは

町長 適切な指導に取り組んでまいります



小 貴 暁 議員

問 消防団によって最大と最少では10倍の差がある。消防団に要する経費は管理者負担だ。町の責任で格差なくせ。

総務部長 協力会費は自治会から地元消防団への協力依頼による活動に対して、感謝やねぎらいの意を持って支払われるものであり、あくまで地元自治会の意思によるものと考えております。

ハ工の発生等地域住民を不快にしている。町、県とも不法解決にむけ行政指導せよ。

今後も関係機関と連携しながら、悪臭防止に向けて、今まで以上に畜産農家の巡回指導に取り組んでまいります。

経済部長 県、町職員の立会いのもと、訪問調査を行い、ふん尿処理施設が適切に稼働しているかなど確認、平成25年には畜産農家が主体となりまして、指導機関の職員を講師に迎え、臭気対策に関する研修会を実施しました。また、対策の中で臭気、異臭等の悪臭の苦情が寄せられた際には、関係機関、県家畜保健衛生所と連絡を密にし、農家に訪問、連絡し、作業内容の改善を図るよう指導を行っております。

町外郭団体の会費強制徴収改善に町は責任果たせ

問 社会福祉協議会等団体の会員は自治会加入世帯をみなし会員として半ば強制的に会費徴収している。実会員数は不明で改善すべきだ。

総務部長

会費は各地域の役員を通じて納入していただいています。社協会費、日赤募金、共同募金につき

ましては、町内各自治会に会費及び個別募金として、社会福祉協議会から協力をお願いをしています。自治会員の方々の意思に基づいた任意の募金等として、強制的な徴収にならないよう配慮しながら、自治会活動の総意としてご協力をいただいているものと考えています。

各消防団協力費の団間格差解消は管理者の責任

家畜排せつ物不法処理に町、県は早急対処せよ

問 適正化法施行10年が経過した。某養豚場ふん尿処理場は不適切だ。悪臭、



素堀り処理で放置されている現場

本

町の通学路整備についての対応は

町長 限られた予算の中で整備に努めます



落合 誠記 議員

問 各部署は、予算を自主的に調整し、実質収支の黒字分を予算編成に利用できているか。

総務部長 近隣市町の動向などを把握し、効果的な予算編成方針の導入を考えております。

町民生活の諸問題への対応を問う

問 おもちゃのまち駅西側やイオン駐車場、安塚街道の信号の適宜性や新設について見解を。

建設部長 交通安全の確保の観点からその必要性を認識しているところです。今後とも警察、公安委員会と協議調整を図ってまいります。

問 道路の舗装工事の要望が多いが。

建設部長 個々の現場状況を精査し、関係機関と協議を行い、緊急性、重要性、事業効果などを勘案し、限られた予算の中で効率的な整備に努めているところです。

問 福和田から壬生小の通学路整備の見解は。至宝2丁目の雨水対策は。

建設部長 通学路の安全確保、雨水排水処理、舗装の新設や修繕等要望をいただいております。現場状況を精査し、限られた予算の中で整備に努めているところです。

問 南部運動場のトイレの洋式化が求められているが。

建設部長 現在は簡易型のトイレを設置しています。現

状を調査しまして、対応してまいりたいと考えております。



おもちゃのまち駅入り口の信号

予算・決算の効率性を問う

問 本町の予算制度は。

総務部長 一次査定は総務部長、総合政策課長により一事業ずつ審査を行い、その後、町長査定を経て、新年度当初予算案となります。

問 次年度予算の投資的経費と経常経費の割合は。

総務部長 投資的経費につ

きましては、約9億9800万円でございます。経常的経費約101億9400万円となり、平成26年度当初予算における割合は、8・6%及び87・9%となります。

問 経常経費の一般財源の付与率は。

総務部長 経常的経費における一般財源の割合は75%です。

議案に対する付託審議

※大島菊夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	赤羽根信行	河野辺恒雄	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	田村正敏	中川芳夫	市川義夫	鈴木理夫	榎井聡	落合誠記	佐藤善光	高山文雄	細井敬一	小貫暁
議案第1号	壬生町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町歯と口腔の健康づくり推進条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	壬生町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	壬生町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	壬生町都市計画税の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	壬生町奨学資金支給基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	壬生町奨学資金特別会計条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	壬生町社会教育委員設置に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	壬生町立図書館設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	壬生町障害程度区分市町村審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	壬生町産業振興条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	壬生町下水道設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	壬生町道路占用条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	壬生町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	壬生町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	壬生町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成25年度壬生町一般会計補正予算(第4号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成25年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成25年度壬生町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成25年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成25年度壬生町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成25年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成25年度壬生町水道事業会計補正予算(第2号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成26年度壬生町一般会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第29号	平成26年度壬生町国民健康保険特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第30号	平成26年度壬生町公共下水道事業特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成26年度壬生町奨学資金特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	平成26年度壬生町介護保険事業特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
議案第33号	平成26年度壬生町農業集落排水事業特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	平成26年度壬生町後期高齢者医療特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
議案第35号	平成26年度壬生町水道事業会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	国民の祝日「山の日」の制定を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	T P P (環太平洋連携協定) 交渉に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

表紙写真の説明

壬生町議会初議会

平成26年3月壬生町議会議員選挙におきまして、現職15名、新人1名計16名が当選しました。

4月の議会臨時会で、市川議長、鈴木副議長が選任され、各常任委員会も一新し、これから4年間町民の声を聞きながら、より良い町づくりを目指して、小菅町政、町執行部に対しまして監視していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

遠藤恭子

各常任委員会の閉会中における 所管事務調査報告

教育民生常任委員会

こども発達支援センター、ドリー
ムキッズの事項について、所管とな
ることも未来課担当職員から説明を
受け、問題点の有無等について調査
をいたしました。

当施設は、平成15年4月開所し、
平成18年4月から指定管理者制度
を導入し、5人体制で運営しています。

利用定員15名、利用契約に基づ
く登録者は未就学児、学童各200
名、週2から3回の利用で、利用定
員枠内であり、定員を見直す検討は
していないとの事でした。

中学生までの利用拡大等の検討に
ついては、体格の違い、障がいの程
度の差があることから、現体制では
困難な状況であるという事でした。
早期に療育を受けることで、問題

行動が減り、集団行動がスムーズに
行えるようになり、通園の必要がな
くなった子どもさんもいることがわ
かりました。これは、保護者の適切
な関わりと療育に熱心な成果である
とのこと。

調査の結果、ドリームタイム（相
談窓口）の周知等をもっと回り、保
護者の方が一歩踏み出せる環境づく
りを検討し、町として子育て事業の
充実、進化を進め、発達支援施設を
療育の施設として気軽に利用できる
よう対策を考えるよう要望いたしま
した。

教育民生常任委員会

委員長 赤羽根信行

なお、常任委員会での調査結果に
つきましては、3月定例議会初日の
本会議において、常任委員長が報告
をいたしました。

全国町村議会議長会表彰



表彰（左から高山議員、佐藤議員）

全国町村議会議長会から佐藤善光
議員、高山文雄議員が在職15年以
上で表彰され、2月25日議場にお
いて伝達式が行われました。

議会広報特別委員会



遠藤委員 坂田委員 赤羽根委員長 玉田副委員長 中川委員

今回の議会だよりから、新
しい広報委員での発行になり
ます。町民と議会の架け橋と
なるよう、皆様の貴重なご意
見をいただき、見やすく、分
かりやすくを心がけて発行し
てまいります。

委員長	赤羽根信行
副委員長	玉田 秀夫
委員	坂田 昇一
〃	中川 芳夫
〃	遠藤 恭子

編集後記

月日が経つのは早いものです。
寒暖の差が激しかった早春も終
わり、新緑が芽生える季節となり
ました。

町議会議員の任期は一期4年。
その4年の任期が終わり、4月か
らは、新たな議員体制でのスタ
トとなりました。議員一人一人が、
より豊かで住みよいまちづくり
を目指し、努めてまいりたいと思
います。

（坂田昇一 記）